



CITROËN

ボディコーティングで
愛車の輝きをいつまでも



CITROËN
GENUINE BODY COATING

新設計コーティングの厚いガラス被膜でボディを保護

先端素材のポリシラザンを基に開発した「GENUINE BODY COATING」は、強固なガラス系骨格の周囲に撥水基をまとうことで硬質かつ厚いコーティング被膜を形成。「汚れ落ちの良さ」に加え、高レベルな「重厚感のあるツヤ」、「なめらかな手触り感」をボディに与えます。



爽快な撥水と深いツヤ

コーティング被膜

ポリシラザンの強固なガラス系骨格+撥水基が、高い撥水性と美しいツヤ、優れた防汚性能と耐久力を発揮します。

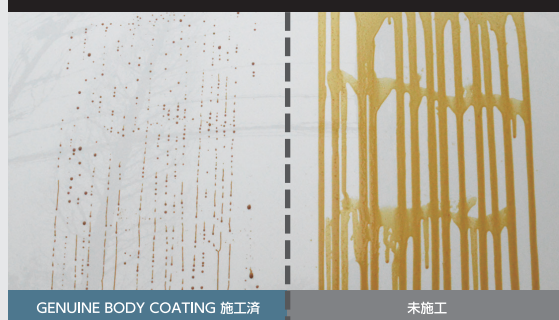


優れた防汚性に撥油性をプラス

微細な汚れや油汚れの付着を抑制

厚いコーティング被膜が細かい汚れの侵入を防ぎます。また、優れた撥油性により、ピッチ・タールなどの油性の汚れの付着も防ぐため、普段の洗車もラクになり、美観の維持が可能になります。

疑似油性汚れによる撥油性比較テスト





CITROËN

5
YEAR
LIMITED
WARRANTY

充実の5年間光沢保証※



保証内容

保証対象部分の光沢が保証期間内に保証基準を下回った場合、施工した販売会社が必要に応じた無料補修を実施します。

(詳細は保証書兼施工証明書 ご参照)

※新車施工時。既販車・中古車の保証期間は施工日から3年間。



施工後のお手入れ

メンテナンスキットでお手入れ簡単



—普段のお手入れは水洗いだけでOK。

—撥水性が弱くなってきたら、洗車後手軽にご使用いただけるクイックコンディショナーを、水洗いで落ちにくい汚れには、撥水メンテナンスクリーナーをご使用ください。

—お車を美しくお乗りいただくために、6ヶ月ごとのメンテナンスをおすすめします。

Q&A

施工後は洗車しなくてもいいのでしょうか？

GENUINE BODY COATING施工車であっても洗車は必要です。お車の美観を維持するには、定期的に洗車をしていただくことが最も大切です。

洗車機で洗っても大丈夫ですか？

コーティング被膜が剥がれることはありませんが、洗車キズが入る恐れがあります。過度のご使用はお控えください。

撥水にすると水滴状のシミが付きやすくなりませんか？

水滴状のシミの主な原因は水に含まれるミネラルが結晶化したものです。そのためシミの付きやすさと撥水性には、あまり深い関係はありません。洗車後は水滴をしっかりと拭き取り、炎天下での洗車はお控えください。

撥水性は弱くなったりしないのですか？

お手入れをしなければ徐々に撥水は弱くなりますが、コーティング膜が無くなった訳ではありません。洗車をして撥水性が弱いと感じた時は、メンテナンスキットに付属しているクイックコンディショナーで、簡単に撥水性を復元できます。

市販のケミカル用品などを使っても大丈夫ですか？

市販のケミカル用品には、コーティング被膜に悪影響を与えるものもありますので使用しないでください。コーティング後のボディには、メンテナンスキットに入っている「クイックコンディショナー」と「撥水メンテナンスクリーナー」をご使用ください。(中性タイプで研磨剤を含まないカーシャンプーの使用は問題ありません)

GENUINE BODY COATINGを施工した車を補修したいのですが…

GENUINE BODY COATING施工車は、補修部分のコーティング膜を剥離してから钣金塗装をした後、再びコーティングする必要があります。钣金塗装の際は必ず、施工したお店にご相談ください。